

# 数理データサイエンス・AI 教育プログラム「データサイエンス概論」

## 自己点検報告

### 1.プログラムの目的・修了要件

#### 【目的】

今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AI を、日常の生活や仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けることを目的として令和4年度に開設した。

#### 【修了要件】

「データサイエンス概論」(2単位)の単位を習得すること。

#### 【授業概要】

この授業では、数理・データサイエンス・AI を実践するにあたって必要となる知識の概論および理論の基礎を学習する。身近なトピックを中心に切りあげ、グループワークや演習を通して、数理・データサイエンス・AI の基礎と、その応用事例、社会との関わりについて学習する。

### 2.プログラムの現状評価

令和4年度に開講した「データサイエンス概論」は、全学生の履修を前提に配置しており、社会福祉学部、教育学部の必修科目として位置づけ、1年生全員が履修している。

なお看護学部は指定規則における変更承認申請との関連で、まず選択科目として配置するとともに、今後の社会動向の変容等やデータサイエンス概論の重要性を説明する等の履修指導により1年生全員が履修している。履修状況は、348名履修し、330名が修了している。

令和5年度からは看護学部も必修科目するため、令和5年度以降関西福祉大学に入学する学生は全員、本プログラムを履修することとなる。

### 3.今後の課題等

以下の内容を確認し、プログラムの運営を改善していくことを確認した。

- 1年生全員が履修しており、授業内におけるオンデマンド課題等にも積極的に取り組んでいる。
- 演習を実施している中で、1コマでは時間が不足することや、学科等の特色を取り上げた演習を授業時間内に確保することが難しい。
- 入学者数によっては同一時限に全員が履修する環境を確保することが難しいこと等を鑑み、オンライン科目としての位置づけを検討したほうがよいのではないかと。

以上、共通教務委員会コアチームにおいて議論し、今後のプログラム運営において改善していくことを確認した。